

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月27日更新

事務事業名	区長連絡協議会運営支援事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	1 自治の健康	所属部	総務部	課長名	岩田 建一
	施策	1 市民参画によるまちづくりの推進	所属課	総務課	担当者名	末永 大樹
	施策の柱	1 地域づくり(まちづくり)人材の育成	所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1226
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 10328	根拠法令 合志市区長連絡協議会事業補助金交付要綱 合志市区設置規程
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	区長相互の親睦を図るとともに各区民の福利増進と各区の発展を図り、住みよい明るいまちづくりに貢献することを目的とする合志市区長連絡協議会の事務局を受け持ち、運営についての支援を行う。 平成19年5月25日合志市区長連絡協議会設立(旧町の現状で合併、合志町区長連絡協議会36区長及び西合志町区長連絡43区長)。平成21年11月1日桜路区が新設、平成23年4月1日に陽光台、平成26年9月1日にポレスター光の森自治会、平成27年4月1日に桜和の丘区、平成27年4月9日にみずき台区が設立され、84区となった。 目的は、会員相互の連絡協調、親睦をはかり、研修に努め、市の行政の健全にして円滑なる運営に寄与するとともに、常に各区民の福利増進と各区の発展を図り、もって住みよい明るいまちづくりに貢献することを目的とする。
【業務の流れ】	合志市区長連絡協議会事務局の事務①補助金交付申請受付、交付決定、支払②協議会等の開催および各種行事等への参加 1.区長連絡協議会、役員会の開催および先進地研修等の実施(開催通知発送、会議資料作成) 2.市等主催研修会等への参加(開催通知発送、参加者取りまとめ) 3.菊池南部区長連絡協議会主催スポーツ大会への参加(開催通知発送、事前練習開催、参加者取りまとめ) 4.H29年度は県北6市嘱託員代表者連絡協議会事務局(持ち回り)の予定 5.H27年度菊池南部区長協議会連合会事務局(合志市・大津町・菊陽町持ち回り)
【主な予算費目】	【款】2 総務費 【項】1 総務管理費 【目】1 一般管理費 【節】3 職員手当、9 旅費、19 負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】	とくになかった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 【30年度計画】前年度と同様①補助金交付申請受付、交付決定、支払②協議会等の開催および各種行事等への参加 1.区長連絡協議会4回、役員会の開催7回および先進地研修等の実施(開催通知発送、会議資料作成) 2.市等主催研修会等への参加(開催通知発送、参加者取りまとめ) 3.菊池南部区長協議会連合会の各事業への参加(役員会、総会、体育大会、研修会) 4.県北6市嘱託員代表者連絡協議会事務局(開催通知発送、参加者取りまとめ、総会の開催)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由 ア: 区長連絡協議会の開催回数 回 イ: 役員会開催回数 回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア: 区長の数 人 イ: 役員会開催回数 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 成果指標(意図の達成度を表す指標) ア: 区長連絡協議会・役員会の開催が支障なく開催された割合 % イ: 研修会等の開催件数 回
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠 区長相互の親睦を図るとともに各区民の福利増進と各区の発展を図り、住みよい明るいまちづくりに貢献することを目的とするため、各会員が抱える地域の課題・問題点の解消のため役員会議、全体協議会議等及び研修会を実施していく。その成果指標として設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

各指標・総事業費の推移	単位	27年度	28年度	29年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 回	4	4	4	4	4	4	4	4	
	イ 回	7	7	7	7	7	7	7	0	
② 対象指標	ア 人	84	84	84	84	84	84	84	0	
	イ 回									
③ 成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100	0	
	イ 回	1	1	1	1	1	1	1	0	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	一般財源	千円	1,124	1,135	1,164	1,078	1,123	1,170	1,170
		(A) 事業費計	千円	1,124	1,135	1,164	1,078	1,123	1,170	1,170
		(A)のうち指定経費	千円	36	0	23	9	22	26	26
		(A)のうち時間外、特勤	千円	36	0	23	9	22	26	26
		(B) 人件費計	千円	1,967	0	2,788	4,074	2,788	2,788	2,788
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,091	1,135	3,952	5,152	3,911	3,958	3,958	1,170	

事務事業名	区長連絡協議会運営支援事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 前年度と同様に各会員が抱える地域の課題・問題点の解決を図るため役員会、全体協議会議等及び研修会を行う。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 区長の任期、就任時期の相違により、区長意識に差があるので、相互の意見交換・研修により向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似のものがないため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 活動の低下につながる。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の業務時間である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市は地域づくりを各区 (自治会) と連携して行っていくこととしており、その代表者組織への支援は住民サービス向上につながるものであり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 現在は事務局を市の担当課 (総務課) で行っており、今後は自主的な運営をお願いし、移行を促していく必要がある。

3 評価結果の総括 (CHECK)

区長相互の親睦を図るとともに各区民の福利増進と各区の発展を図り、住みよい明るいまちづくりに貢献することを目的としており、事業計画の協議会議・研修会を行い円滑に運営ができた。また「行政区の再編について」などの対策を検討した。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						